

Press Release

ポケットブル超音波厚さ計を全面リニューアル UTM-110 を新発売

東京計器株式会社は、新たに開発した超音波厚さ計(商品型式: UTM-110)を2015年6月より販売開始いたします。本製品はUTM-101の後継機となるもので、高い測定精度と信頼性はそのままに、現場での使いやすさを追求しています。

形状は手に馴染みやすくグリップ感を重視したエルゴノミックデザインを採用し、片手での操作を容易にしました。また、視認性の高い液晶ディスプレイや操作性の良い大きなキーパッドを採用しています。その他、データロガーの内蔵によって本体のみで1000件の測定結果が記録でき、保存したデータはPCにダウンロードが可能です。現場における測定結果の記録を容易にし、レポート作成をサポートします。

現在、社会インフラの老朽化が深刻な問題となっていますが、作業オペレータの人手不足もあって適切な維持管理に支障をきたしています。東京計器では、こうしたインフラの保守点検市場に向けて、操作が簡単でユーザーフレンドリーな超音波厚さ計UTM-110を拡販していく方針です。

特長

- ・小型軽量のポケットブルサイズ
- ・リアルタイムクロックにより時刻と共に測定データを記録
- ・PC無しで記録測定値を一覧表示
- ・USB経由でWindowsPCに出力可能(CSV方式)

おもな用途

- ・配管、貯蔵タンクなどの保守点検
- ・ノギスが使えない部位の金属板の厚さ測定

おもな仕様

- ・測定分解能 : ±0.1mm
- ・測定範囲 : 0.7~250mm(鋼鉄換算)
- ・外形寸法 : 126.7×68.9×24(mm)
- ・本体質量 : 165g

□■超音波厚さ計とは■□

超音波厚さ計は、超音波を利用することによってパイプラインや圧力容器、各種貯蔵タンクなどの肉厚を計測する保守点検用の非破壊検査機器です。ボイラーの配管やケミカル貯蔵タンクなどは長期間使用していると内側から腐食して減肉(厚さの減少)します。これが進行すると強度の確保に影響がでるため定期的な保守点検が必要ですが、パイプラインやタンクの肉厚はノギスでは測定できません。超音波を利用した超音波厚さ計であればプローブ(探触子)を外側からあてるだけで正確に検査対象物の厚さを測定することができます。

□■東京計器と超音波厚さ計■□

東京計器は、1973年に世界に先駆けてポケットサイズの「超音波厚さ計 UTM シリーズ」を発表しました。それまでのポータブル超音波厚さ計は大型のため機動性に問題ありましたが、超小型のポケットサイズの UTM シリーズが登場したことで現場での作業性が飛躍的に向上しました。発売以来ご好評をいただいております、UTM シリーズの累計販売台数は3万台を達成しています。

●本製品に対するお問い合わせ

〒144-8551

東京都大田区南蒲田 2-16-46

東京計器株式会社 油圧制御システムカンパニー

TEL:03-3737-8616 FAX : 03-3737-8667

